

長野県議会 **改革・新風** 会派だより

第6号 (2012年) 平成24年10月

発行・編集／改革・新風
長野県庁県議会棟内(026)232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com



◆交通安全施設の整備
(1億6707万7千円)

◆道路環境の整備
(4億9888万8千円)

◆子どもの安全・安心

◆産業の活性化

◆地場産業の振興
(943万2千円)

◆緊急雇用創出基金の活用
(4億7437万1千円)

◆大学生の就職活動支援
(339万5千円)

◆県単独公共事業費
(30億322万5千円)

9月定例会は、9月20日に開会し、10月5日までの16日間の会期で開催されました。経済・雇用情勢への対応のための「緊急雇用創出基金の活用」などを盛り込んだ63億1861万3千円の一一般会計補正予算案および森林税の5年延長等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

9月定例会

63億1000万円余

補正予算などを可決

◆安全確保のための街頭指導の実施
(546万1千円)

◆再生可能エネルギーの導入促進

◆防災拠点等への再生可能エネルギーの導入促進
(1億6291万6千円)

◆農業用水を活用した小水力発電の普及
(1050万円)

9月定例会は、9月20日に開会し、10月5日までの16日間の会期で開催されました。経済・雇用情勢への対応のための「緊急雇用創出基金の活用」などを盛り込んだ63億1861万3千円の一一般会計補正予算案および森林税の5年延長等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

9月定例会は、9月20日に開会し、10月5日までの16日間の会期で開催されました。経済・雇用情勢への対応のための「緊急雇用創出基金の活用」などを盛り込んだ63億1861万3千円の一一般会計補正予算案および森林税の5年延長等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

地域公共交通アンケート

長野県は、現在中期総合5か年計画や新策定を定めていることから、地域公共交通への県の支援のあり方を探るため、当会派は独自に県内の市町村へのアンケートを実施しました。ご協力に心から感謝を申し上げます。

全ての市町村が交通政策を行っています

アンケートから明らかになった長野県内の公共交通の状況は、まず鉄道が走っていない市町村は23、民間路線バスがない55、鉄道もバスも両方ないは18でした。

長野市・松本市以外では民間バスの運行は厳しい状況にあり、生活路線バスからの撤退が続いています。

こうした状況を受けて、コミュニティバス(58)、デマンド(25)

この国以前公共交通再活性化事業が事業仕

公共支出割合の高い上位10町村

市町村名	負担率
生坂村	1.27%
木曾町	1.17%
小海町	1.03%
信濃町	1.01%
小谷村	0.87%
長和町	0.86%
朝日村	0.76%
川上村	0.76%
松川町	0.71%
麻積村	0.68%
上松町	0.68%

◆安全確保のための街頭指導の実施
(546万1千円)

◆再生可能エネルギーの導入促進

◆防災拠点等への再生可能エネルギーの導入促進
(1億6291万6千円)

◆農業用水を活用した小水力発電の普及
(1050万円)

9月定例会は、9月20日に開会し、10月5日までの16日間の会期で開催されました。経済・雇用情勢への対応のための「緊急雇用創出基金の活用」などを盛り込んだ63億1861万3千円の一一般会計補正予算案および森林税の5年延長等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

東日本大震災被災地視察 (9月8日)

東日本大震災の被災地の視察を行いました。今回は特に被害の大きかった岩手県釜石市、大船渡市、陸前高田市の現状を見てきました。いずれの地域も震災から1年半が経った今でも、破損した家屋が立ち並び、瓦礫の山が点在しています。

復旧の遅れを感じ取れました。特に陸前高田市では中心市街地が津波によって一掃され、元は市街地であったことが想像できないほど、荒涼とした風景となりました。復興が遅々として進まない現状を目の当たりにしてきました。

青森県庁を視察 (9月6日)

平成14年12月に東北新幹線八戸駅開業により並行在来線がJR東日本から経営分離され、青森県は青い森鉄道(株)に青い森鉄道の運営管理業務を委託しました。こうした経過はしなの鉄道(株)と同様で、青い森鉄道(株)の経営健全化に向けての経営努力などの説明を受けました。青い森鉄道(株)は旅行商品の開発や定期出張販売など運賃収入

増加への努力を行って、しなの鉄道(株)の運営にも参考になるものでした。

東日本大震災被災地視察 (9月8日)

東日本大震災の被災地の視察を行いました。今回は特に被害の大きかった岩手県釜石市、大船渡市、陸前高田市の現状を見てきました。いずれの地域も震災から1年半が経った今でも、破損した家屋が立ち並び、瓦礫の山が点在しています。

復旧の遅れを感じ取れました。特に陸前高田市では中心市街地が津波によって一掃され、元は市街地であったことが想像できないほど、荒涼とした風景となりました。復興が遅々として進まない現状を目の当たりにしてきました。